

会長の時間 ●片岡会長

ー電化と発電についてー

まずもって11月30日のIM、本條委員長、中村ガバナー補佐はじめ、ご協力をいただきました皆様に深く御礼申し上げます。(素晴らしいIMでしたと、多くの方々からお声をかけていただきました。)

さて、今月は電化と発電についてお話をさせていただきます。

私は会社の代表就任から1年余りたった2003年3月から社員に向けて社内報を月に一度発行しています。2004年8月の社内報17話で私は、『歴史的な猛暑の中での、業務遂行有難うございます。』と述べています。

ネットで検索してみると、2004年8月の国内の最高気温は37.7℃、2024年8月の最高気温は39.4℃でした。2004年8月一か月の気温

は、2024年9月一か月の気温とよく似た気温でした。20年でさらに暑くなったのは確かかなようです。

さて、地球温暖化の大きな要因は『化石燃料を燃焼利用した際に発生するCO₂の大量排出』だと言われて久しいですが、

2022年、国内発電の72.7%(天然ガス33.7%、石炭30.8%、石油8.2%)が火力発電で、2004年の48.3%を大きく上回っています。

原子力発電は5.5%(2004年、27.7%)、太陽光9.2%(同、0%)、水力7.6%(7.5%)、バイオマス3.7%、風力0.9%、地熱0.3%。

自然界にCO₂を排出する発電に大きく依存している現在、電化を進めることに私は違和感を覚えますが、皆さんいかがでしょうか。

卓 話

●佐藤精機株式会社 代表取締役・鳥取県政アドバイザースタッフ

佐藤 慎介様

「地方(播磨)から宇宙産業を支える中小企業創出の途」



龍野ロータリークラブの皆さん。私は、佐藤精機という金属加工を主とする製造業で代表をしております佐藤慎介と申します。私の会社は1955年に姫路市余部区下余部で、私の父が一人で中古の旋盤を買ったところから歴史が始まりました。それから69年。今も創業の地を本社にしております。

その間、2015年にご縁があり、たつの市土師の場所に工場を新設致しました。

工場を建てる目論見として、その時考えていたのは、日本の製造業の行く末への不安と将来展

望でした。日本における家電などの大量生産の時代はもはや行き詰まり、世界に冠たる自動車産業も脱炭素の影響を受け、EVなどへのシフトの多大なる影響がますます日本を暗いものになっている現実です。次の産業、ものづくり現場においては何か？コモディティ製品などの大量生産型からの脱却を伴う新しい分野への移行を実現するために、たつのの地を選び、佐藤精機の新たな展開を企図したのです。今回、卓話というお話を崎野様から頂き、身分不相応とは承知も、私と会社の第二の故郷になった場所での機会を、ありがたく感謝の気持ちでお話させていただきます。なお、題に選んだのは、本年11月にアクリエ姫路で開催された宇宙科学技術連合会で私が講演したものをショートバージョンにしたものです。地方、播磨とて例外なく押し寄せる衰退のフェーズ。それに、製造業はいかに向き合うか。これからの産業、宇宙産業の創出は中小企業でも可能か？

私なりの持論をお話いたします。



会社沿革

- 1955年10月 姫路市余部区下余部にて佐藤貞義が佐藤鉄工所として営業を開始
- 2003年3月 ISO9001(品質マネジメントシステム)認証取得
- 2008年12月 ISO14001(環境マネジメントシステム)認証取得
- 2013年1月 OHSAS18001(労働安全衛生マネジメントシステム)認証取得
- 2013年11月 仕事と生活のバランス企業表彰を受ける
- 2015年10月 たつのテクニカルセンター竣工
- 2016年3月 JISQ9100(航空宇宙品質マネジメントシステム)認証取得
- 2016年9月 兵庫県オンラインワンを目指す企業(NEXT ONLY ONE)に認定
- 2017年2月 JAXAより超真空輸送容器FFTCを受注
- 2019年4月 文部科学大臣より職域の創意工夫功労者賞受賞
- 2019年6月 はばたく中小企業小規模事業者300社に選定される
- 2020年4月 令和元年度ひょうごNo.1ものづくり大賞 技術部門賞 受賞
- 2020年10月 経済産業省より地域未来牽引企業に選定される
- 2021年3月 ひょうごオンラインワン企業に認定される
- 2023年12月 NASAに超真空輸送容器FFTCを納入

行政からの評価

- 2013年11月 ひょうご仕事と生活のバランス優秀企業 認定
- 2019年6月 はばたく中小企業・事業者300社 認定
- 2020年3月 ひょうごNo.1ものづくり大賞・技術部門賞 受賞
- 2020年10月 地域未来牽引企業 認定
- 2021年3月 ひょうごオンラインワン企業 認定
- 2023年3月 健康経営優良法人 認定

多種多様な分野と顧客の要求に応えること

↓

宇宙品質へのトレーニング

製品供給分野

1. 半導体製造関連 24%	2. 油圧関連部品 18%	3. 車関連部品 12%
4. FA関連部品 10%	6. 昇降機関連部品 9%	7. 防衛装備品 10%
8. 宇宙関連部品 5%	9. 航空機関連部品 5%	東証プライム上場企業36社との直取引させて頂いています。

- 技術
- マーケティング(ブランディング)
- モラル(コンプライアンス)
- モチベーション etc

- プリコラーージュ
チャンスを見逃さない
- エフェクチベーション
果敢にチャレンジ
- コーゼーション
確信を持って

70枚のスライドで、佐藤精機の取組みと私の考えをご紹介いたしました。

経営用語で使われるブリコラージュ（思ひぬ出会い）とエフェクチエーション（きっかけを得て進捗させる）先ずは、地方の中小製造業は、これに向き合う視線と姿勢が、次を生み出

す源になると思います。地方にあっても、いや、地方のリソースを使うからこそ、都市部にはないメリットが生まれ落ちます。我々、地方に生きる者には宇宙産業は身近な存在であると強調する次第です。

西播第2グループIM報告 ●本条IM実行委員長

去る11月30日、ホテルモントレ姫路にて、中村孝秀ガバナー補佐のリーダーシップのもと、当クラブのホストにより、今年度の西播第2グループ Intercity Meeting が、グループ4クラブ会員117名の全員登録、並びに矢坂誠徳ガバナーはじめ来賓12名のご臨席を得て、盛大に開催されました。

今回のテーマは「Rotary's Value」でした。地域社会にとって、我々メンバーにとって、更には未来のロータリアンにとって、クラブが誇るべき、クラブの求心力となるべき「ロータリーの価値」とは何か、或いは今後それはどうあるべきか、改めて皆で考えてみよう、というのがその趣旨です。

その為に今般IMでは、研修会前半で、各クラブの若手会員から「Our Future Vision」（クラブが目指すべき将来像）のタイトルで発表を頂くこととし、各クラブに於いては半年に亘って勉強会やフォーラム、会員アンケートなど取り組みを頂きました。その成果として当日の発表では、それぞれにクラブの個性をベースとしながら、奉仕、親睦、学びといったロータリー本来の価値観を反映した「Future Vision」が提示されました。

矢坂ガバナーからは、掲げたビジョンに向けてメンバー個々の精進が肝要である旨、講評を頂戴した次第です。

研修会後半では、2025年RIラーニングファ

シリテーターで、当地区パストガバナーである滝澤功治先生から、「Rotary's Value」をテーマにご講演を賜りました。もの静かながら熱のこもった語り口で、客観データや世界情勢も交えつつ、ご自身の体験に基づくロータリーの価値を、じっくりと拝聴することができました。

研修後の懇親会では、久しぶりに親しく一堂に会したメンバー同士、料理とお酒を楽しみながら、ロータリーの友愛を育みました。アトラクションは、クライスアンサンブルによる弦楽三重奏でしたが、サプライズゲスト奏者としてサックスを携えた中村ガバナー補佐が登場すると、場内の盛り上がりは最高潮に達しました。

終盤の「手に手つないで」では、北村ソングリーダーの名タクトがひとときわ光ったことも申し添えておきます。

今般IMのホストに当たり、当クラブメンバー各位並びに小倉事務局には、準備段階を含め、それぞれの持ち場で格別のご尽力を賜りました。特に中村ガバナー補佐には、折に触れて適宜適切なご指導を頂き、お心遣いのほど誠に有難うございました。

お陰様で当初計画のプログラムを無事に終えることができ、当グループにとって実りある親睦と研鑽の機会となったものと存じます。

皆様のご厚情に心より御礼を申し上げ、ご報告といたします。



